

12月市議会定例会

一般質問

12月12日(火)から14日(木)の3日間の日程で13人の議員が一般質問を行い、市政について、市長をはじめ関係理事者の考え方などをたどりました。紙面では一部の質問を要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。

12月12日(火)

自民クラブ

加藤喜三男(30分)



(1) 市制施行80周年とその後の新居浜について

- ① 記念事業の成果と課題
 - ② 10年先、20年先の新居浜
 - ③ 組織のあり方
- (2) 文化振興と子供たちの未来について

① 文化振興に関する指針

- ② 子供たちが利用できる取り組み
- ③ 施設の運営予算
- (3) 消防、防災について

- ① 総合防災拠点施設完成後の組織のあり方
- ② 救急体制の充実
- (4) 学校給食について

(1) ② 10年先、20年先の新居浜

問 本市は今年市制施行80周年という記念すべき年を迎え、11月3日の式典の記念講演で、別子太平記の作者でもある井川香四郎先生が、新居浜に対する思いを述べられたが、市長は、10年先、20年先の新居浜をどのような市にしようとしているのか伺いたい。

答 本年Hello! NEW新居浜を合言葉に、みんなが主役、みんなが誇れる、そしてみんなに愛される市民と市が一緒になって新しい新居浜をつくるための活動をスタートした。この新しい取り組みや新居浜市総合戦略を着実に進めることで、10年後、20年後も住みたい、住み続けたい町を目指し、市民の誰もが幸せを実感できる笑顔輝く新居浜市の実現に向けて邁進する。

(2) ① 文化振興に関する指針

問 新居浜の素晴らしい文化資源を生かし、文化振興を進めるための指針をつくり、それに基づき必要な予算を確保し、あかがねミュージアムを初めとする施設、学校教育の中で、さまざまな政策を進める必要があると考えるが、文化振興に関する指針を定めることについてどのように考えているのか伺いたい。

答 芸術文化事業は、本物の芸術に触れることで感性を磨くとともに、伝統文化や多様な文化に触れるきっかけにもなり、未だの未だの文化を担う子供たちのためにも、また魅力ある誇れるふるさと新居浜を創造するためにも、芸術文化振興を総合的、効果的に推進するための指針となる文化振興計画の策定は必要と考えている。現在、策定に向けた事前準備に着手しており、本市の特性を生かした文化振興計画策定に向けて取り組む。

公明党議員団

高塚広義(30分)



(1) 防災行政について

- ① 災害・防災情報伝達システム
- ② 女性視点の防災ブック
- (2) 買い物弱者対策について
- (3) がん対策について

- ① がん検診の受診率向上と禁煙推進

② 胃がんリスク検診(ABC検診)導入

- ③ がんとの共生
- (4) 地域の要望について
- ① 上部東西線の交通安全対策
- (5) 都市鉱山からつくる五輪メダルについて

(1) ① 災害・防災情報伝達システム

問 コミュニティFM開局に伴う事業で、土砂災害警戒区域や要援護者の方を中心に配布される自動起動機能付き防災ラジオについて、配布対象の条件や想定している人数、また条件に該当しない方で配布を要望される市民への補助について伺いたい。FMラジオ局の市民への周知が大事なので、広報活動を伺う。

答 土砂災害危険箇所に係る避難勧告対象地区のうち、100世帯には国の事業により配布し、残りの対象地区世帯や離島の大島地区住民、公民館や学校など、約600カ所への配布を予定している。対象外の購入希望者には、購入費用の一部補助制度の創設を検討したい。また、コミュニ

ティFMの周知については、地域密着、市民参加といった特徴を生かした継続的な広報活動が重要であり、今後、防災及び災害時の放送に加え、音楽やトーク番組、地域のイベント情報など、身近でわかりやすく、市民が放送や運営に積極的に参画できるよう、放送内容を企画し、定着化を図る。

(3) ②胃がんリスク検診（A BC検診）導入

問 西条市では今年度より胃がん予防の意識を高め、自身自身及び家族の健康に関心を持つことを目的に、中学二年生を対象にピロリ菌検査を実施。高崎市では胃がんリスク検診の導入で大幅に医療費を削減できている。石川市長公約の重点施策に各種検診の拡充を訴えていることから、導入に向けての所見を伺う。

答 国のがん検診の在り方に関する検討会において、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であり、市町村が実施する対策型の検診として推奨されていないこと、通常の胃がん検診の受診率低下や医療機関の混乱を招く懸念があることなどが

ら実施する予定はないが、愛媛県胃がん検診実施要領に基づいた胃内視鏡検査の導入を検討している。今後は、先進地の動向や国の調査研究の検証結果などに注視しながら、がん検診の受診率向上に向け取り組む。

**いずみ会
篠原 茂（30分）**



(1) 本市の財政について

- ①当初予算編成
- ②財政調整基金
- ③基金運用

(2) 障害者支援について

- ①障害者虐待の防止
- ②障害者支援施設
- ③社会福祉法人の社会貢献活動

(3) まちづくり校区懇談会について

- ①対話によるまちづくり会議
- ②地域コミュニティ支援員制度
- ③基金運用

(1) ③基金運用

問 日銀のマイナス金利導入による厳しい金利環境の中で、基金を一括運用する自治体が増え、その中には、運用利回りが全国自治体トップ級の1.9%程度まで上昇した市もある。基金は市民の財産であり、少しでも基金運用を増やしてい

くべきと考えるが、どのように考えているのか。

答 平成29年2月の公金管理委員会において、債券運用指針の抜本的な見直しを行い、本年4月から利回りのよい超長期債券購入による基金運用を開始しており、平成29年度の運用収益は、預金運用のみの昨年度と比較して約300万円程度の増額が見込まれている。また、基金の一括運用についても来年度からの実施に向けて庁内協議を進めている。

(3) ①対話によるまちづくり会議

問 現在のまちづくり校区懇談会には、地域の将来ビジョンや地域課題の解決を協議する雰囲気を感じられない。他市では、住民と行政の協働の展開に、対話によるまちづくりの手法をとっている。まちづくり校区懇談会を「対話によるまちづくり会議」にして、地域課題を解決する方法に転換してはどうか。

答 まちづくり校区懇談会は、連合自治会の皆さまと日程、実施方法などの協議を経て開催しているが、まちづくりを実践していく上で、対話は極めて重要

であり、校区の特性に応じ、より多くの住民が関心を持ち、より対話を深められるように運営することが重要と認識している。今後も連合自治会の皆さまと協議を重ねながら、より対話を深められる運営、進行に努める。

12月13日（水）

**無会派
岡崎 溥（10分）**



- (1) 議員の口ききと市民要望等の記録制度について
- ①現在の記録制度の実態
- ②議員の口ききと市民要望の記録
- ③暴言・パワハラ問題の記録
- ④記録の公開
- ⑤条例化

**無会派
井谷 幸恵（10分）**



- (1) 学校給食施設整備基本計画（案）について
- ①子供より経済優先の大転換
- ②真の食育の破壊
- ③責任のとれる体制
- ④当事者の声

無会派
米谷和之（10分）



(1) シティブランド戦略について

- ① 目的
- ② 市民意見の聴取
- ③ 目標指標

無会派
神野恭多（10分）



(1) 学校教育の充実について

- ① コミュニティ・スクールの推進
- ② スクールソーシャルワーカー

自民クラブ
豊田康志（30分）



(1) 国民体育大会について

- ① 大会の総括
- ② 今後のスポーツ振興

- ② 働き方改革について
- ① イクボス宣言
- ② 女性職員の人材育成
- ③ 勤務時間にとらわれないワークスタイル

(3) 国民健康保険料について
(4) ユニバーサル就労の推進につ

ついで
(5) 空き家対策について



(1) ② 今後のスポーツ振興

問 国体を目指して、ジュニア層などの育成に取り組んだ結果、本市からも優秀な成績を収めた選手が多数誕生した。しかし、国体はゴールではなく、東京オリンピックを目指し、今後

も、競技力向上に向け、指導者や選手の育成が必要だと考えるが、市の考えを伺う。

答 商業高等学校バスケットボール部と東高等学校バドミントン部が、全国大会出場を決めるなど、トップアスリート事業や高校スポーツ強化運動部指定校事業などの成果が着実に表れている。全国レベルの優秀なコーチなどの指導方法や技術を直接市内の指導者が学ぶことで、選手の育成にも生かされ

るとともに、中学生、高校生の競技力向上も期待できることから、これらの事業を継続して実施したい。

(4) ユニバーサル就労の推進につ

いで

問 静岡県富士市は、さまざまな理由により働けない人を、市

民、事業者及び事業者団体が

協働し支援する「ユニバーサル就労推進条例」を策定した。本市でも、この理念を参考に就労支援体制を充実させてはと思うが市の考えを伺う。

答 障がい者自立支援協議会に、障がい者の就労支援を推進する専門部会として、はたらく部会を設置して、課題解決へ向けた協議や障がい者雇用に関する講演会を開催するなど、障がい者の雇用促進につながる取り組みを行っているが、さまざまな理由により働きたくても働くことができない状態にある全ての人に就労を提供できる体制の構築には至っていないため、今後先進事例などについて調査研究を行う。

無会派
岩本和強（10分）



(1) 市営住宅について

- ① 住宅戸数約31%（588戸）減の影響
- ② 政策空き家の弊害
- ③ 市民ニーズに応える住宅の提供

- ④ 入居募集方法と保証人
- ⑤ 収入超過者と高額所得者の退去
- ⑥ 家賃の滞納解消

12月14日（木）

いづみ会

三浦康司（10分）



(1) 国体終了後の競技力向上について

(2) 大規模災害時の職員体制について

いづみ会
伊藤優子（20分）



(1) 子ども・子育て支援新制度について

- ① 子育て世代包括支援センター
- ② 児童虐待の早期発見・予防の充実
- ③ 幼保小連携モデル事業の実施
- ④ 保育士人材バンクの活用
- ⑤ 子どもの一時的預かり
- ⑥ 病児保育
- ⑦ 紙おむつの無料化

(2) 愛媛県青少年赤十字への加盟について

(3) 児童の虫歯の現状について

自民クラブ
田窪秀道（30分）



(1) 雇用対策について

① 市内企業への雇用確保と公営

新居浜市議会事務局

←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

問 昨年救急車を利用した方の約45%が軽症者であった。救急車の適正利用の観点から「救急安心センター事業」共通ダイヤル#7119の設置を求める。急なけがや病気の際は医師、看護師、相談員が瞬時に対応。緊急性が高い場合は救急車出場を要請し、低いと判断された場合は救急相談や医療機関を案内。

答 救急安心センター事業は、原則24時間365日体制での対応であり、医療現場での豊富な知識や経験を持った専門家が不可欠

(3) ①救急安心センター事業 (#7119) の普及促進

(5) ①リサイクル率の向上

①生活道路としての位置づけと今後のあり方

(4) 渡海船と別子山地域バスについて

②救急安心センター事業 (#7119) の普及促進

(3) 救急医療体制の現状について

①救急活動の現状

②LED照明と無電極(インダクション)照明について

賄いつき独身寮の開設

2月市議会定例会

お気軽に傍聴にお越しください。

会期 2月20日(火)～3月15日(木)

時間 午前10時開会

場所 本会議の傍聴：市役所7階本会議場傍聴席
委員会の傍聴： // 6階各委員会室傍聴席

放映 本会議はCATVで生中継、録画放送および市議会ホームページで動画配信を行います。

開催日	内容
2月20日(火)	提案説明、質疑、委員会付託
2月27日(火)	一般質問 永易 英寿 議員 (40分) ・予算質疑 藤原 雅彦 議員 (40分) (代表) 伊藤 優子 議員 (40分)
2月28日(水)	一般質問 太田 嘉一 議員 (40分) ・予算質疑 藤田 幸正 議員 (10分) (代表・個人) 井谷 幸恵 議員 (10分) 藤田 誠一 議員 (30分) 岡崎 溥 議員 (10分)
3月1日(木)	一般質問 藤田 豊治 議員 (30分) ・予算質疑 神野 恭多 議員 (10分) (個人) 佐々木文義 議員 (30分) 大條 雅久 議員 (30分) 米谷 和之 議員 (10分) 岩本 和強 議員 (10分)
3月2日(金)	企画総務委員会開催 (予定) 市民経済委員会開催 (予定)
3月5日(月)	福祉教育委員会開催 (予定) 環境建設委員会開催 (予定)
3月7日(水)～ 9日(金)	予算特別委員会開催 (予定)
3月15日(木)	委員長報告、討論、採決

問 本市は他市より資源ごみが豊富。古紙類では新聞雑誌、段ボール、飲料用紙パック。雑紙

(5) ①リサイクル率の向上

であるが、人材確保の難しさなどから、全国で7地域にとどまっている。費用対効果や既に普及が進んだ都道府県の小児救急電話相談(#8000)との連携も含め、市単位ではなく、県単位での実施が望ましいと考えている。

問 本年度は燃やすごみに含まれている雑紙などの分別の強化を喫緊のテーマとして、さまざまな対応を検討している。ごみの減量やリサイクル率向上には、市民や事業者の皆さまのご

(答) 本年度は燃やすごみに含ま

では洋服タグ、フリーペーパー、ダイレクトメール、ノート、プリント、画用紙、折り紙、ティッシュ空箱、はがき、封筒など多彩。雑紙分別を徹底すればリサイクル(再資源化)率も向上するが、どのように考えているのか。

(1) 塩田と銅山について
(2) 農業振興について

無党派
藤田 幸正 (20分)



議事課 ☎ 65-1321
☎ 65-1322